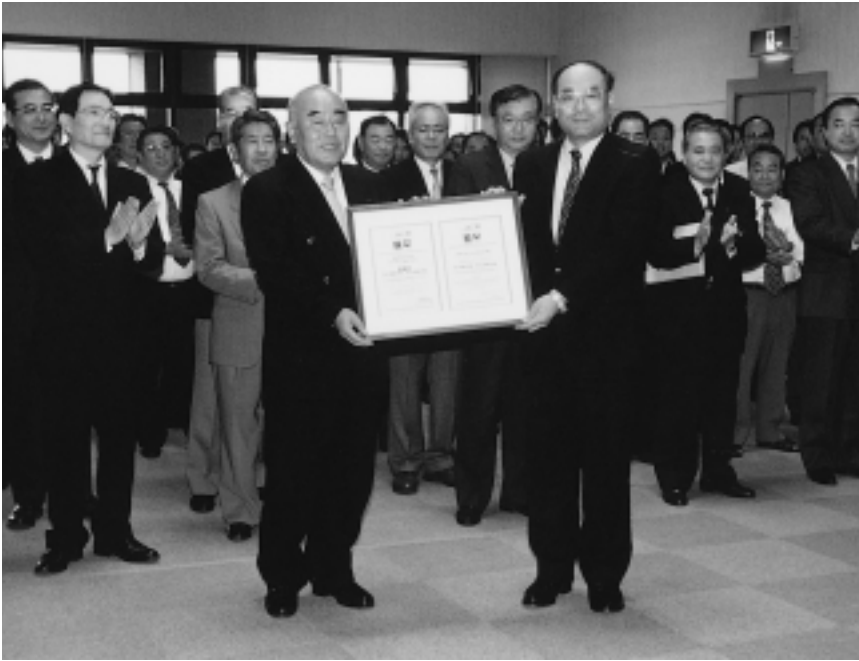


広報えびな

編集・発行
海老名市役所 広報広聴課
〒243-0492
神奈川県海老名市勝瀬175番地の1
☎ (046) 231・2111
URL <http://www.city.ebina.kanagawa.jp>
*この広報は再生紙を使用しています。

ISO14001の認定証が海老名市に(11月1日撮影)



ISO14001の認証を取得 環境対策に新たな一歩

海老名市は10月24日、ISO14001の認証を取得しました。ISO14001は環境対策を推進するための国際規格で、ISO(国際標準化機構)が制定したものです。現在市では、環境マネジメントシステム(環境管理を行うシステム)を運用して、真に効果のある環境対策を実施しようとしています。ISO14001の認証取得は、このシステムが国際規格に適合していることを認められたものです。

最も優れた国際規格

スイスのジュネーブに本部を置くISOは、各種の国際規格を制定し、自由貿易の進展など世界の発展に有効な活動を行っている非政府間国際機関です。

身近なISO規格としては、写真フィルムの感度表示やねじの規格があります。また、マネジメントシステムの規格としては、品質保証に関する9000シリーズが有名です。ISO14001は、環境管理に関する14000シリーズの

システムの柱 "環境方針"

ISO14001の規格による環境マネジメントシステムは、市がこれからのようなことを実行していくのかについて明確にした環境方針(右)を策定し、これに基づいて環境目的・目標(左)を設定・実施・点検して、不都合な点があればシステムを見直すというサイクルを毎年繰り返しながら、環境対策のための活動を継続的に改善向上させていくものです。その意味で環境方針は、市の環境マネジメントシステムの柱となるものといえます。

海老名市役所環境方針

基本理念

今、地球環境は長年にわたる人類の活動によって深刻な破壊と汚染、生物種の減少や資源枯渇の状態を進行させている。海老名市役所はこの地球環境問題の解決へ向けた可能な限りの具体的な行動を実行し、未来の子孫たちへよりよい地球環境を引き継ぐために貢献したいと願う。持続的発展は地球環境に対する熟考の上に成り立つことを確認し、事務事業活動に伴う環境への負荷を抑制するとともに、環境保全効果を可能な限り高め、人類共通の課題である地球環境保全に微力を尽くす誇りあるまちづくりを推進する。

基本方針

海老名市役所は、この基本理念に基づき環境目的・目標を設定し、見直す仕組みを持つ強力な環境マネジメントシステムにより、環境保全活動の継続的な実行、改善、向上を目指す。また、海老名市第三次総合計画後期基本計画を中心として、環境関連の要素を持つ各種計画に基づく事務事業を総合的に管理し、効果的に実行するとともに、地球温暖化、オゾン層の破壊などあらゆる地球環境問題の防止・改善に努め、海老名市役所の各種事務事業を立案・実行する際には地球環境問題に対する考察・配慮を必須とする。

1 環境保全・改善のまちづくり

地球環境に配慮したまちづくりを推進するとともに、環境問題に対する市民、事業者の意識啓発に努め、それぞれの立場で環境保全・改善活動が実行されるよう地道な働きかけを行う。

2 省エネ、省資源、リサイクルの推進

海老名市役所の活動、製品、サービスのために必要な資源、エネルギーについて見直し、可能なものはより環境負荷の少ないものに転換するとともに、再利用と再生利用、減量に努め、また、活動の結果排出される排出物の減量、再資源化を図ることで地球環境の汚染、破壊の予防、資源枯渇の予防に努める。

3 緑の保全と創造

地域に残された自然の森を守るとともに、新しい緑地の創造に取り組み、地域の森林資源とそこに根ざす生態系の保護に資する。

4 法規制の遵守

環境関連法令等を遵守するとともに、海老名市役所が組織として実行を約束したその他の要求事項の実現に取り組む。

5 職員の教育

公務員としての役割を認識し、地球環境保全・改善に対する意識向上を図るため、教育・訓練を徹底し、実践的活動を維持する。

この環境方針は、海老名市役所の全職員に周知するとともに、市民をはじめとする関係者に公表する。

平成13年5月22日

海老名市長 亀井英一

20項目の "目的・目標"

このシステムで設定された環境目的は中期計画、環境目標は目的を達成するための年度ごとの計画となっています。平成13年度の環境目的は全部

で20項目、それを実現するための同年度計画である環境目標も20項目です。システムでは、これらを確実に達成することで環境対策の実効を確保するように規定しています。そのための責任の所在、手段、日程を明確にするとともに

システム 運営に協力を

環境目的・目標の中に「ごみの分別回収」に関する記述があります。これなどは、その達成のために市が努力することはもちろんですが、市民のみなさんによる協力が欠かせない環境目的・目標です。

環境マネジメントシステムでは、市民のみなさんは「利害関係者」と位置づけられ、みなさんの要望や需要を的確に反映しながら、環境対策を実施していくことになっていきます。

今後、さらに環境目的・目標を増やすことになると考えられますが、市のしっかりした活動と市民のみなさんの協力が、環境マネジメントシステムの確実な運営と、環境対策の改善・向上を促進することになります。

問い合わせ

生活環境部
ISO担当 (内515)

海老名市役所全体の環境目的および目標一覧

1 環境保全・改善のまちづくり

(1)環境負荷の少ない公共事業、環境に有益な公共事業を目指す	
環境目的	①平成15年度までに「公共工事環境配慮マニュアル」を作成・実行し、マニュアル完全実施事業を50%にする ②平成15年度までに「契約事業環境配慮マニュアル」を作成・実行し、マニュアル完全実施事業を50%にする
年度目標	①「公共工事環境配慮マニュアル」策定委員会を設置して実態調査および提案作成 ②「契約事業環境配慮マニュアル」策定委員会を設置して実態調査および提案作成
(2)市街化調整区域の生活排水処理対策を推進する	
環境目的	平成15年度までに合併浄化槽整備助成累計数を200ににする
年度目標	合併浄化槽助成数…70槽
(3)ごみの減量化と再資源化を推進し、ごみの年間総排出量の抑制に努める	
環境目的	①平成15年度までに生ごみ処理器の累計補助基数を860基にする ②平成15年度までに集団資源回収による累計資源回収量を1,200tにする ③平成15年度までに分別回収による年間回収量を12,000tにする
年度目標	①生ごみ処理器補助基数…260基 ②集団資源回収量…400t ③分別回収量…10,800t
(4)環境問題に対する市民・事業者の意識啓発を推進する	
環境目的	①環境イベントの開催 ②小中学生による学校給食の牛乳パックリサイクルの回収率を平成15年度までに50%にする
年度目標	①環境展、相模川美化キャンペーンの開催・実施 ②牛乳パックリサイクル回収率30%

2 省エネ、省資源、リサイクルの推進

(1)省エネを推進する	
環境目的	①平成12年度実績を基準に、市庁舎の年間電力使用量を平成15年度までに1.0%削減する ②平成12年度実績を基準に、図書館の年間電力使用量を、平成15年度までに1.35%削減する ③平成9～11年度実績平均値を基準に、有馬図書館の年間電力使用量を、平成15年度までに1.2%削減する
年度目標	①市庁舎の年間電力使用量を0.3%削減(平成12年度実績基準) ②図書館の年間電力使用量を0.45%削減(平成12年度実績基準) ③有馬図書館の年間電力使用量を0.4%削減(平成9～11年度実績平均基準)
(2)省資源・リサイクルを推進する	
環境目的	①平成12年度実績を基準に、プラスチック製・紙製事務用品のグリーン購入率(購入量)を、平成15年度までに79%にする ②平成12年度実績を基準に、使用済み事務用紙のリサイクル率を、平成15年度までに31%にする ③平成11年度実績を基準に、再生紙の使用率を、平成15年度までに100%にする ④平成12年度実績を基準に、紙製・プラスチック製事務用品の使用量を、平成15年度までに3%削減する
年度目標	①グリーン購入率73%(平成12年度実績基準) ②使用済み事務用紙リサイクル率29%(平成12年度実績基準) ③再生紙の使用率98%(平成11年度実績基準) ④紙製・プラスチック製事務用品の使用量1%削減(平成12年度実績基準)

3 緑の保全と創造

(1)地域の緑を保全する	
環境目的	①平成15年度までに、生垣の設置・保存奨励制度の対象生垣を累計で、新設300m、保存1,500mにする ②平成15年度までに、自然緑地保存樹木の新規指定本数を累計で、15本にする
年度目標	①生垣の新設100m、保存500m ②自然緑地保存樹木新規指定5本
(2)地域の緑を創造する	
環境目的	①平成14年度までに、都市公園等を2カ所整備する ②平成15年度までに工場・事業所との緑化協定を3カ所実現する ③緑化イベントの開催
年度目標	①都市公園等1カ所整備 ②緑化協定1カ所 ③緑化まつりの開催